

# 平成25年度 児童生徒の体力・運動能力調査結果の概要について

## 1 調査の目的

本県の児童生徒の体力・運動能力及び生活に関する実態を把握し、体育・スポーツ活動振興の基礎資料とするとともに、各学校における体育指導等に活用する。

## 2 調査の対象

校種	学校数	学年	人数
公立小学校	223校	4・5・6年	31,849人
公立中学校	90校	1・2・3年	31,967人
公立高等学校(全日制)	40校	1・2・3年	22,556人
合計	353校		86,372人

## 3 調査の内容

### (1) 新体力テスト

- ① 握力
- ② 上体起こし
- ③ 長座体前屈
- ④ 反復横とび
- ⑤ 20mシャトルランか持久走  
(小はシャトルラン、中高は選択)
- ⑥ 50m走
- ⑦ 立ち幅とび
- ⑧ ソフトボール投げ(小)、ハンドボール投げ(中高)

### (2) 生活調査

- ① 運動部や地域スポーツクラブへの所属状況
- ② 運動やスポーツの実施状況
- ③ 1日の運動・スポーツの時間
- ④ 朝食の有無
- ⑤ 1日の睡眠時間
- ⑥ 1日のテレビの視聴時間  
(テレビゲームを含む)

## 4 調査の結果(体力合計点) ※体力合計点とは、新体力テストの8項目の記録を1点から10点に得点化し、合計したもの。

### (1) 体力合計点の全体平均

体力合計点 (点)					
年度	H21	H22	H23	H24	H25
全体平均(男女)	51.22	51.66	51.76	51.82	51.93

(小4～高3) 9学年

### (2) 体力合計点の学年別平均

男子	H21	H22	H23	H24	H25
小4	49.57	49.98	50.34	50.09	50.21
小5	55.97	55.88	56.06	56.20	56.03
小6	61.91	61.91	62.01	61.80	61.98
中1	34.25	34.80	34.59	34.83	34.89
中2	43.45	44.10	44.13	43.92	44.12
中3	49.01	50.79	50.84	50.76	50.84
高1	51.06	50.76	51.65	51.45	51.41
高2	55.35	56.18	55.72	57.02	56.71
高3	57.88	58.21	58.79	58.39	59.09
平均	50.56	51.10	51.14	51.17	51.25

女子	H21	H22	H23	H24	H25
小4	49.49	49.46	49.85	50.17	50.51
小5	56.26	56.50	56.06	56.87	56.53
小6	61.63	61.78	62.12	61.52	61.98
中1	43.89	44.51	44.41	44.34	43.87
中2	49.77	50.02	50.24	49.95	50.89
中3	51.49	51.75	52.15	52.26	52.34
高1	49.87	50.13	49.89	50.21	50.79
高2	51.65	52.52	52.47	52.61	52.72
高3	52.35	52.88	53.72	54.12	53.60
平均	51.89	52.23	52.38	52.49	52.63

## 5 「平成25年度」と「過去10年間の平均」の比較

### 男子

項目	区分	小学校			中学校			高等学校		
		4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
体力・運動能力	握力	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
	上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	持久走	△			○	▲	○	○	○	○
	20mシャトルラン				○	○	○	○	○	○
	50m走	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	立ち幅とび	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	○
	ボール投げ	▲	▲	▲	○	○	○	▲	○	▲

### 女子

項目	区分	小学校			中学校			高等学校		
		4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
体力・運動能力	握力	○	▲	▲	▲	▲	▲	○	○	○
	上体起こし	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	反復横とび	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	持久走	△			▲	○	○	○	○	○
	20mシャトルラン				○	○	○	○	○	○
	50m走	○	▲	-	-	○	○	○	-	○
	立ち幅とび	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	ボール投げ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	○

(注) ○: H25が上回っている。

▲: H25が下回っている。

-: H25と過去10年平均が同じ。

△は、当該学年にない項目。

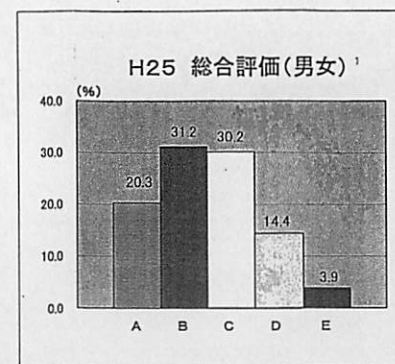
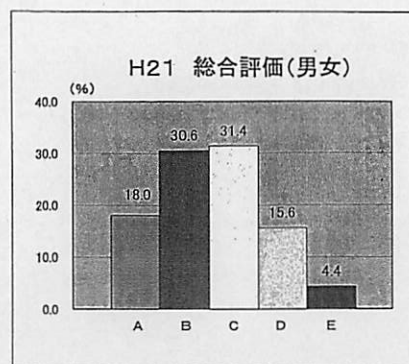
中・高等学校は、「持久走」または「20mシャトルラン」のいずれかを選択する。

6 総合評価の状況 ※総合評価とは、新体力テストの項目の得点を合計し、総合評価基準表にあてはめたもの。

(1)【全体(男女)】

年度	総合評価(段階別割合)					(%)
	A	B	C	D	E	
H21	18.0	30.6	31.4	15.6	4.4	
H22	19.0	31.0	31.3	14.8	3.9	
H23	19.7	31.1	30.6	14.6	3.9	
H24	19.9	31.2	30.6	14.4	3.9	
H25	20.3	31.2	30.2	14.4	3.9	

- A 優れている
- B やや優れている
- C 普通
- D やや劣っている
- E 劣っている



(2)【男子(小中高)】

年度	総合評価(段階別割合)					(%)
	A	B	C	D	E	
H21	16.1	30.7	31.6	16.3	5.3	
H22	17.3	30.9	31.6	15.5	4.6	
H23	17.9	31.3	30.7	15.6	4.5	
H24	18.2	31.1	30.6	15.5	4.6	
H25	18.3	31.0	30.6	15.5	4.6	

(3)【女子(小中高)】

年度	総合評価(段階別割合)					(%)
	A	B	C	D	E	
H21	20.0	30.4	31.3	14.8	3.4	
H22	20.6	31.0	31.1	14.1	3.1	
H23	21.5	31.0	30.4	13.7	3.4	
H24	21.6	31.3	30.6	13.3	3.2	
H25	22.3	31.4	29.9	13.3	3.1	

7 まとめ

<調査結果の傾向>

- ・本県の児童生徒の体力・運動能力は、昭和60年頃から全国と同様に低下傾向を示していたが、その後の様々な体力向上への取り組みにより、近年は回復傾向を示している。
- ・25年度の調査結果の「体力合計点」及び「総合評価」からは、本県の児童生徒の体力・運動能力は、本県独自の悉皆調査を開始した18年度以降引き続き上昇傾向にある。
- ・25年度の体力テスト調査8項目それぞれの平均値を過去10年間の平均値と比較すると、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(20mシャトルラン)、50m走の5項目は、概ね小中高の全学年で上回っているが、握力、ボール投げの2項目では下回っている学年が多い。
- ・小学校では、上記の2項目に「立ち幅とび」を加えた3項目(握力、ボール投げ、立ち幅とび)が多く学年で下回っている。特に、握力やボール投げの低下については、重いものを持つ、木にぶら下がるなど日常生活の中で握力が鍛えられる機会が減ったことや、雲梯や棒登りをはじめ、ソフトボール遊びなどの屋外での運動経験が少なくなったためと考えられる。
- ・生活調査では、昨年までと同様に、「毎日朝食を食べる」「週3日以上運動する」と答えた児童生徒の体力・運動能力が高い傾向にある。

<今後の取り組み>

- ・過去10年間の平均値を下回る3項目(握力、ボール投げ、立ち幅とび)に力点を置き、本県児童生徒の体力・運動能力をバランスよく向上させていく必要がある。
- ・児童期からの取り組みが重要であることから、下回っている3項目を向上させる実践研究を進めるとともに、各学校の実態に即して、体育の授業以外の時間を活用し、握力やボール投げの向上を図るため、鉄棒運動やボール・ラケットを使った遊び・運動などを多くするよう働きかける。
- ・2月の「体力アップ研究協議会」において、今年度、体力向上支援プランの実践研究で取り組んだ2項目(ボール投げ、立ち幅とび)を向上させるための運動実践例を示し、各学校において、体育の授業や平成26年度以降の「体力アップ1校1プラン」に積極的に取り入れるよう指導する。